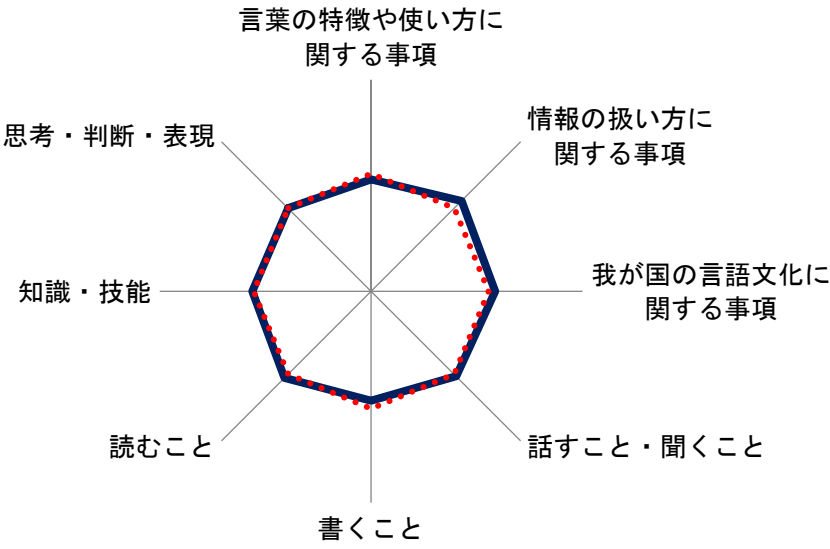


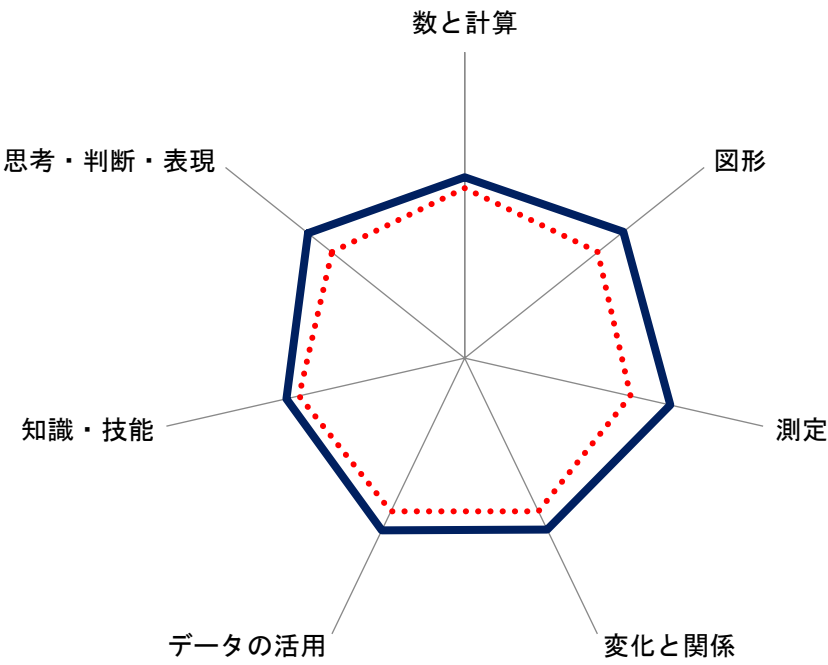
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

— 市平均
..... 全国平均

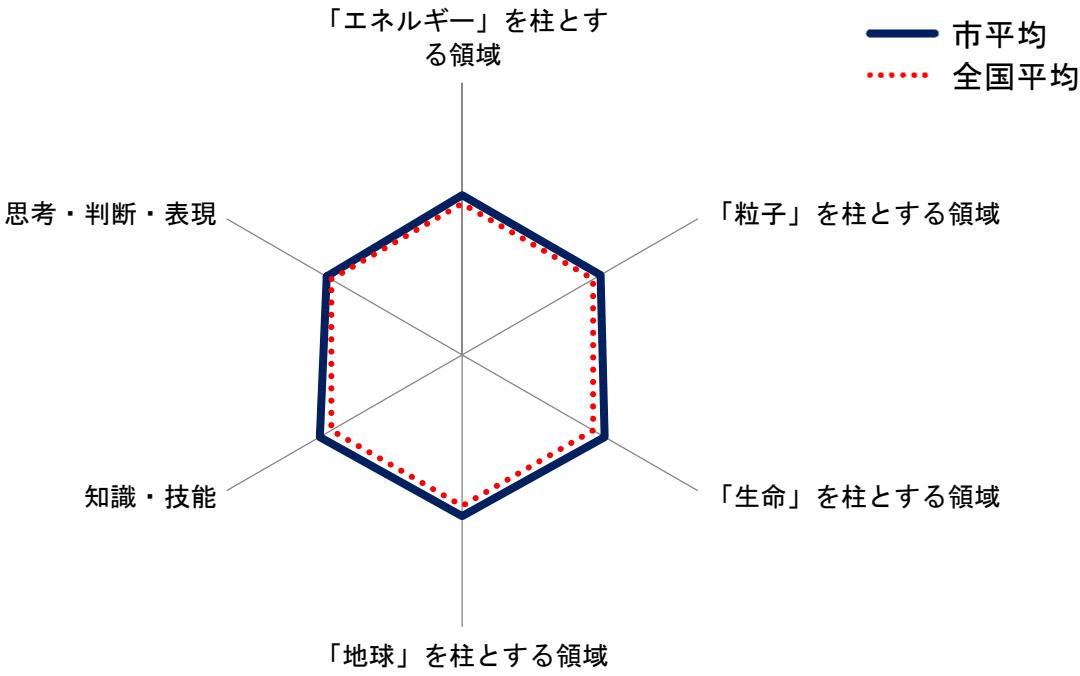


【算数】

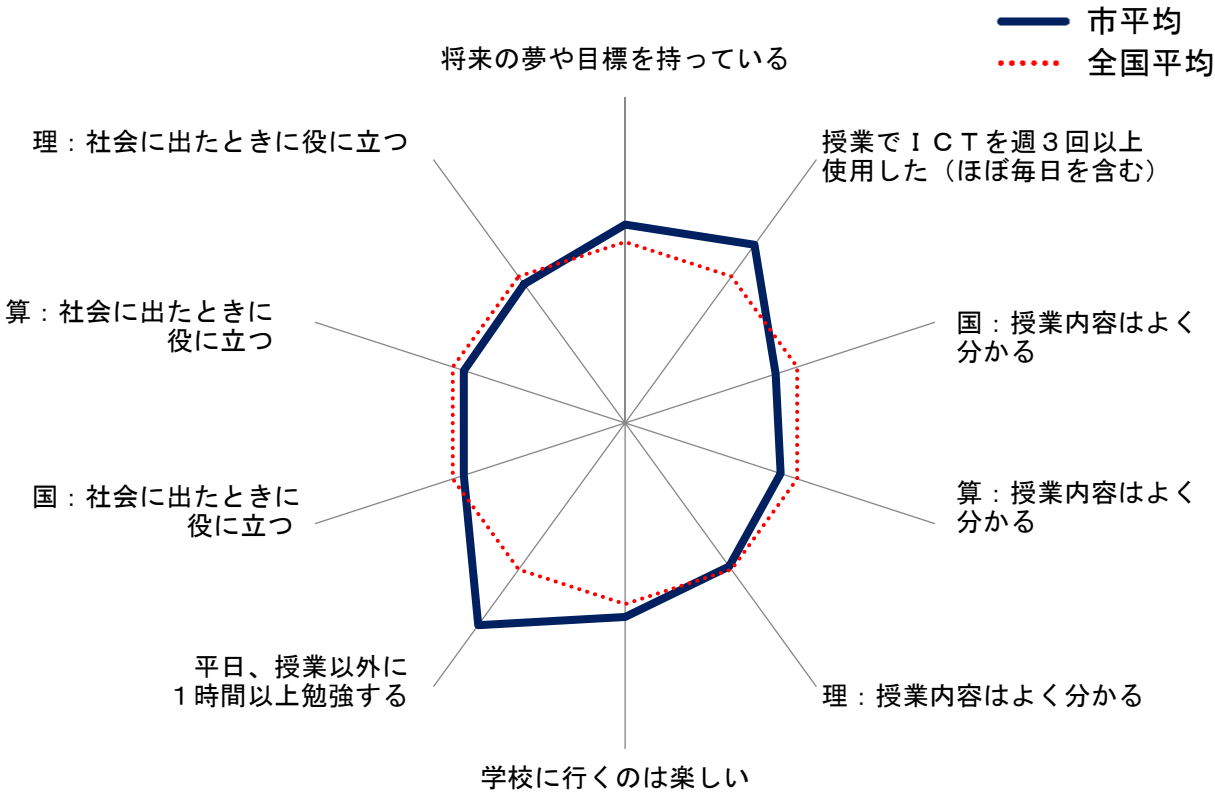


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【理科】



○ 児童質問調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語、理科のほとんどの項目が全国平均と同程度の結果になっており、算数の多くの項目は全国平均を上回っている。特に算数の「測定」「図形」「思考・判断・表現」の項目は、全国平均を大きく上回っており、良好な結果である。一方、国語の「言葉の特徴や使い方に関する事項」や「書くこと」の項目は全国平均をやや下回っており、課題が見られる。今後は、課題分析をさらに丁寧に行うとともに、言葉への興味・関心をより喚起し、根拠を明確にしながら的確に書く活動を充実させることが望まれる。

児童質問調査では、「平日、授業以外に1時間以上勉強する」「授業でICTを週3回以上使用した」の項目が昨年度に続き全国平均を大きく上回っており、良好な結果が続いている。一方、国語や算数の「授業内容はよく分かる」の項目は、依然として全国平均を下回っており、課題である。今後は、市独自の授業モデルを基盤に、児童が自ら課題を見付け、習得した知識や身に付けた力を生かして主体的に問題解決に取り組む授業づくりを、より一層推進することが望まれる。